

講師略歴



公益社団法人 日本農地保有合理化協会

会長 渡辺 好明

【略歴】

昭和20年（1945年）東京都出身。

昭和43年東京教育大学（経済）卒業、同年農林省入省、大臣官房企画室長、林野庁林政部長、環境庁水質保全局長、農林水産省構造改善局長、水産庁長官などを経て、平成14年に農林水産事務次官（平成16年退官）、その後、小泉内閣において内閣総理大臣補佐官（郵政民営化担当～平成19年）、（株）東京穀物商品取引所代表取締役社長（～平成24年）を歴任。また、このほかにも、愛媛大学（水産）客員教授、全国農業会議所理事、（公財）国際エメックスセンター評議員、（公財）花と緑の農芸財団理事、（一社）全国米麦改良協会会長、（一財）農政調査委員会評議員、（NPO）子どもの食育推進協会副理事長、（NPO）ふるさとテレビ理事など。

（公社）全国農地保有合理化協会とは

農業経営基盤強化促進法第11条の2により、指定された法人団体で、我が国の農業・農村の持続的発展のため、

- ・農業経営の規模拡大、農地の集団化その他農地保有の合理化等による農用地の利用の効率化及び高度化の促進に関する啓発普及
- ・農業経営の規模拡大、農地の集団化その他農地保有の合理化等による農用地の利用の効率化及び高度化の促進に関する調査研究・情報提供
- ・農地の利用及び保全に関する相談
- ・農業経営の規模拡大、農地の集団化その他農地保有の合理化等による農用地の利用の効率化及び高度化の促進を適正かつ円滑に行うための研修
- ・農業経営の規模拡大、農地の集団化その他農地保有の合理化等による農用地の利用の効率化及び高度化を促進するための資金供給、助成及び債務の保証

などの業務を行う法人です。